

令和7年度 香川大学生と高松市議会議員との意見交換会

日時：令和7年10月20日（月） 午後3時～午後5時

会場：高松市議会 議場及び委員会室

【午後3時】

造田議会運営委員会副委員長の司会により、香川大学生と高松市議会議員との意見交換会を開会いたしました。

まず、橋本副議長が挨拶し、次に、北谷議会運営委員会委員長が会の進め方を説明しました。

その後、テーマごとに意見交換をするため、会場を移動しました。



【午後3時15分～】

市議会の常任委員会ごとのグループに分かれ、各常任委員会が調査・研究しているテーマについて、学生と意見交換を行いました。

グループ1（総務常任委員会）

（第1委員会室にて）

テーマは、「投票環境の向上」。

杉本委員長の司会により、横井副委員長からテーマの概要を説明し、5人の学生と意見交換をしました。

まず、投票の利便性向上については、「駅や商業施設に投票所を開く」や「会社や学校で選挙に行く時間を設ける」、「会社や学校、家を巡回して投票してもらう」などの意見がありました。

また、若者が選挙に関心を抱く取組や周知啓発については、「出前授業時にプチ期日前投票所を設ける」や「大学やSNSでの周知啓発」、「不在者投票等の周知啓発」など、様々な意見をいただきました。



グループ 2（教育民生常任委員会）

（第 2 委員会室）

テーマは、「介護予防・日常生活支援総合事業のさらなる推進」。

中村秀三委員長の司会により、糸瀬副委員長からテーマの概要を説明し、4 人の学生と意見交換をしました。

まず、介護予防の取組に関心が薄い人へのアプローチ方法については、「家族へ情報発信することで家族からの働きかけを促す」や「必要行動にひもづいた場所での情報提供や声かけ・イベントなど自然な動線を整える」などの意見がありました。

また、早い時期から健康づくりに取り組んでもらう手法については、「グラウンドや芝生スペース等の運動環境の整備により世代横断の運動習慣を形成する」のほか、担い手の確保については、「介護職のよさややりがいの発信」や「介護士等の試験等を受けやすくする支援」など、様々な意見をいただきました。



グループ 3（経済環境常任委員会）

（第 3 委員会室）

テーマは、「企業成長促進による産業力強化」。

辻委員長の司会により、笹原副委員長からテーマの概要を説明し、5 人の学生と意見交換をしました。

まず、地域特性を生かした取組については、「AI やロボット等の先進技術に投資する」や「音楽関係の企業を誘致し香川漆器等の伝統工芸を絡めた楽器作り」、「インバウンドに焦点を当てた観光産業の強化」などの意見がありました。

また、若い世代の労働力の確保については、「ネームバリューのある企業が市内にあれば就職したいと思う」のほか、労働力の流出を防ぎ人材確保につながる施策については、「若者が集える娯楽施設や公共交通機関の整備による暮らしやすいまちづくりが必要」や「子育て支援や家賃補助等の充実」、「既存の企業をさらに魅力的にしていける」など、様々な意見をいただきました。



グループ 4（建設消防常任委員会）

（第 4 委員会室）

テーマは、「女性消防吏員のさらなる活躍に向けた取組の推進」。

大西委員長の司会により、松熊副委員長からテーマの概要を説明し、4人の学生と意見交換をしました。

まず、人材確保の取組の強化については、「小中学生は職業に対する憧れが大きいため選択肢につながる」や「SNS 動画や大学の授業は受動的に情報に触れられる手段として有効」、「いろんな職種が集まった合同説明会への参加」などの意見がありました。

また、ライフステージの変化に応じた支援等については、「日勤救急隊など、ワーク・ライフ・バランスの取組があると安心」のほか、広報活動については、「多岐にわたる業務内容を伝えることで男性の仕事のイメージを払拭する」などの意見がありました。

さらに、各職員の特性や強みを生かした体制づくりについては、「女性消防吏員がどれだけ貢献しているのかについて、男性職員からの声があるとよい」など、様々な意見をいただきました。

また、全てのグループで、意見交換会の後半にはフリーテーマで学生から議員への質問等の時間を設け、学生からは、「なぜ議員になろうと思ったのか」や「議員になる前の職業や活動について」などのたくさんの質問が寄せられました。



【午後 4 時 4 5 分】

再度、議場に集合し、各常任委員長から、グループごとの議論の概要等を発表した後、香川大学 堤法学部長から御挨拶をいただき、最後に北谷議会運営委員長からお礼の挨拶をして、意見交換会を終了しました。

アンケートでは、「議会での議論やどのようなことを決めているのか知ることができた」や「堅いイメージであったが温和で対話のプロと感じた」など、ありがたい感想をいただきました。

また、どのような市政に関心があるかの質問には、「少子高齢化」や「子育てなどの福祉制度」、「外国人労働者の受け入れやインバウンドの促進」など、大学生が感じている課題等についても知ることができ、とても有意義な意見交換会となりました。



御参加いただきました香川大学生の皆様、会の開催に御協力いただきました堤法学部長をはじめ、関係者の皆様、本当にありがとうございました。